学力調査および学習意識等調査について

教育指導課指導係　☎0824-73-1184

本年度実施した、全国学力・学習状況調査および広島県児童生徒学習意識等調査の結果は次のとおりでした。
庄原市の児童生徒の学力や学習の状況をお伝えします。

全国学力・学習状況調査の結果

文部科学省が行う、全国学力・学習状況調査が4月23日に実施され、小学6年生と中学3年生が参加しました。
（※中学校英語は4月20日～5月29日の期間に実施）

小学校では、国語・算数の正答率が県・全国平均を上回りました。中学校では、国語・英語は県・全国平均を上回った一方、数学は下回り、数学的な表現を理解し、考察・表現する力に課題が見られました。

今後は、基礎・基本の定着を図るとともに、令和9年度から全ての調査がCBT（コンピューターを使ったテスト）で実施されることを踏まえ、タブレット端末の基本操作や文字入力を含め、授業での1人1台端末の活用を進めます。

※中学校英語の結果はIRTスコアで公表。IRTとは「項目反応理論」と呼ばれる統計理論で、単純な正答数だけでなく、問題の難易度なども考慮して生徒の学力を推定する方法のこと。

■各教科の平均正答率

	教科	庄原市	広島県	全国
小学6年生	国語	66%	64%	60.9%
	算数	58%	58%	56.4%

	教科	庄原市	広島県	全国
中学3年生	国語	65%	64%	63.9%
	数学	56%	57%	57.0%
	英語	505～514	493	499

※庄原市・広島県の平均正答率は整数値で公表

広島県児童生徒学習意識等調査の結果

広島県教育委員会が行う児童生徒学習意識等調査が6月9日～19日に実施され、小学5年生と中学2年生が参加しました。

図1　家庭学習

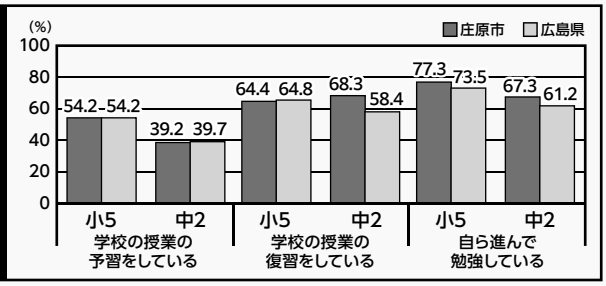


図2　意識調査

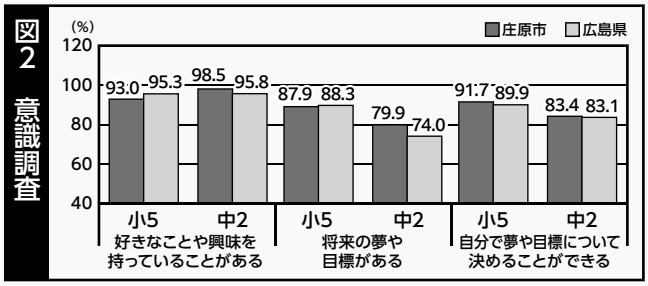
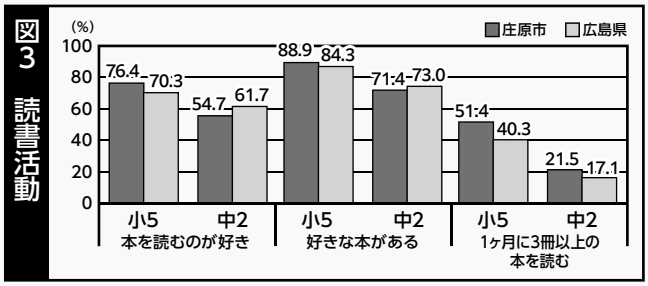


表1　平日のスマートフォンの使用時間

学年		平日、スマートフォンを使う時間の割合（%）					
		使わない	1時間未満	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4時間以上
小学校第5学年	庄原市	22.2	25.9	17.6	10.6	7.9	15.7
	広島県	23.4	27.1	18.7	12.4	7.5	10.8
中学校第2学年	庄原市	8.5	9.5	27.6	24.6	13.1	16.6
	広島県	5.9	11.0	20.3	24.2	16.3	22.2

図3　読書活動



※図1～3の割合は肯定的に回答している割合　　※表1の各数値は小数第一位までの表示としており、合計が100%にならない場合があります。

小学5年生・中学2年生ともに、予習をする割合は県平均と同程度となっていますが、中学2年生は復習をする割合が高く、自ら進んで勉強する児童生徒も多いことから、主体的に学ぶ意欲がうかがえます。今後も、学校と家庭が連携して学習習慣の定着を支援するとともに、小中学校の連携を進めます。（図1）

また、「好きなことや興味を持っていることがある」「将来の夢や目標がある」など、自己理解に関する項目も高い割合となりました。家庭や学校でのさまざまな体験が、子どもたちの自己形成につながっていることがうかがえます。（図2）

一方、スマートフォンの使用時間は年々増加しており、1日2時間以上使用する割合は、小学5年生で34.2%、中学2年生で54.3%でした。長時間の使用による健康への影響も指摘されています。家庭で使用時間や使い方のルールを決めるとともに、スマートフォン以外のメディアとの付き合い方についても考えてみましょう。（表1）

読書では、1カ月に3冊以上の本を読む児童生徒の割合が、小学5年生・中学2年生ともに高くなっています。学校や家庭での取り組みにより、多くの児童生徒が読書を楽しみ、本の面白さや魅力を感じていることがうかがえます。これからも、家庭で一緒に読書をするなど、本に親しむ時間をつくってみてください。（図3）

今後も市教育委員会では、児童生徒の望ましい生活習慣の定着と学力の向上に向け、家庭・学校・地域が連携した取り組みを進めていきます。